

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376200230
事業所名	グループホームJO・さざんか 第2

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） カラオケや紙芝居の地域のボランティアが毎月やって来て、利用者を楽しませている。地域の小学校の5、6年生が、福祉体験学習にやって来る。すぐ近くには認定こども園があり、毎年2回ホームを訪問して歌や遊戯で利用者と交流している。 祭りの日には子供神輿がやって来る。利用者のご祝儀を用意し、ホームの外で手作りの紙吹雪を撒いて祭りを盛り上げている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は、同法人の姉妹ホーム（JO・さざんか）との合同開催で、年間6回、毎奇数月に開催されている。会議メンバーは多彩で、利用者、家族の他に、行政枠で地域包括支援センターの職員や介護相談員、地域枠で区長や高齢者クラブの役員、民生委員、知見者として医療機関関係者、介護事業所の職員等々である。毎回、活発な意見交換がある。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の職員の参加こそないが、運営推進会議には地域包括支援センターの職員が必ず参加している。 介護相談員の受け入れをしており、毎月2名の相談員の訪問がある。利用者との話の中でホーム運営に益すると思われる事柄は、相談記録や口頭でホームに伝えられている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 管理者（代表）が地域出身で、職員や利用者のほとんどが地域出身者であることから、家族のホーム来訪も多い。その際に、職員は世間話と共に家族の意見や要望を聞き取っている。 かつてはホームだよりの発行があったが、現在は請求書の備考欄や余白を使って管理者（代表）がコメントを記載するに留まっている。今年度、「ホームだよりの隔月発行」を目標達成計画に取り上げて取り組んでいる。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	◎